

Ⅲ 試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)令和4年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理		7			7
2 生産工学	1	1			2
3 水稲	1	2	4	2	9
4 畑作物	1	1			2
5 特産作物	1				1
6 果樹	2	1			3
7 野菜	2	8			10
8 花き	1	1	2	2	6
9 土壌作物栄養		3		1	4
10 病害虫制御	2	4		1	7
11 乳用牛				1	1
12 肉用牛	1	2	5	5	13
13 中小家畜(豚・鶏)					0
14 草地・飼料作物		2		1	3
15 畜産環境					0
[計]	12	32	11	13	68

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本及び近い将来、普及区分や指導区分の試験研究成果として発展が見込める成果

(2)令和4年度成果名一覧

【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
生産工学	R4-普-01	活用しよう！農業分野で利用する低コストRTK-GNSS導入マニュアル	生産システム
水稲	R4-普-02	岩手県の水稲主要3品種における刈取時期と品質・食味との関係	生産システム
畑作物	R4-普-03	縞萎縮病に強く多収で、製麺適性に優れる日本麺用小麦品種「ナンブキラリ」	水田利用
特産作物	R4-普-04	短稈・多収の糯あわ新品種「アワ岩手糯11号」の育成と品種特性を活かした栽培法	県北作物
果樹	R4-普-05	着色良好で果実品質に優れる中生のりんご品種「錦秋」	果樹
果樹	R4-普-06	果汁が多く食味良好な早生の西洋なし品種「ジェイドスイート」	果樹
病害虫制御	R4-普-07	リンゴ黒星病とモニリア病を同時防除できる重点防除時期「花蕾着色期」	病理昆虫
野菜	R4-普-08	収量が多く、収穫・調製労力が軽減可能な促成栽培用いちご品種「恋みのり」	南部園芸
野菜	R4-普-09	夏秋どり栽培向け四季成り性いちご品種「夏のしずく」	南部園芸
花き	R4-普-10	りんどう早生品種「いわて夏のあい」における千鳥疎植栽培の軽労・増収効果	花き
病害虫制御	R4-普-11	リンドウ黒斑病の発生生態と重点防除時期	病理昆虫
肉用牛	R4-普-12	黒毛和種県産種雄牛「百合花智(ゆりはなとも)」、「菊百合福(きくゆりふく)」、「星乃栄(ほしのさかえ)」の作出	種山畜産

【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
農業構造・経営管理	R4-指-01	集落営農法人の人材確保・育成における実態と課題	農業経営
農業構造・経営管理	R4-指-02	若手世代の集落営農法人への従事可能性と求める条件	農業経営
農業構造・経営管理	R4-指-03	集落営農法人における人材確保・定着に向けたポイント	農業経営
農業構造・経営管理	R4-指-04	農林業センサス個票データを用いた「地域農業分析支援シート」	農業経営
生産工学	R4-指-05	根出し無コーティング種子を利用した代かき同時浅層土中播種栽培の特徴と管理のポイント	生産システム
水稲	R4-指-06	令和4年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	生産システム
水稲	R4-指-07	ほ場でも容易に実施できる無人航空機(ドローン)を利用した水稲リモートセンシング技術	生産システム
土壌作物栄養	R4-指-08	県内水田における灌漑水からの硫黄供給量	土壌肥料
病害虫制御	R4-指-09	クモヘリカメムシによる斑点米被害の特徴	病理昆虫
畑作物	R4-指-10	小麦種子検査の発芽試験のための休眠打破方法	水田利用

分野	成果番号	成果名	担当研究室
病害虫制御	R4-指-11	りんご園における土着カブリダニ類保護のための下草管理が樹体生育および果実品質等へ及ぼす影響	果樹
果樹	R4-指-12	ぶどう「サニールージュ」の早期ジベレリン処理技術における適正着房数	果樹
病害虫制御	R4-指-13	りんご幼木における急性衰弱症の診断ポイントと改植時での当面の対策	病理昆虫
農業構造・経営管理	R4-指-14	水田転換畑を活用した野菜作導入・検討のための参考資料	農業経営
農業構造・経営管理	R4-指-15	先進産地の取組実態からみる野菜産地支援のポイント	農業経営
農業構造・経営管理	R4-指-16	地域農業分析支援シートを用いた野菜産地の構造分析手法	農業経営
野菜	R4-指-17	雨よけ夏秋栽培ピーマンでの低コスト環境制御技術導入による増収効果	野菜
野菜	R4-指-18	ピーマンの収穫初期（5～6月）における、収穫後に発生する尻腐れ果の混入低減対策	野菜
野菜	R4-指-19	秋まきたまねぎ栽培における基肥窒素量減肥の可能性と追肥開始時期	野菜
野菜	R4-指-20	県南部の秋まきたまねぎ栽培に適する品種と定植時期	野菜
野菜	R4-指-21	秋まきたまねぎ栽培の1球重推定が可能となる生育指標	野菜
野菜	R4-指-22	秋まきたまねぎ栽培における畦間かん水の効果	野菜
野菜	R4-指-23	いちご低コスト閉鎖型高設栽培システムにおける培地無加温条件に対応するための改修方法	南部園芸
土壌作物栄養	R4-指-24	春まきたまねぎ栽培における窒素追肥の最適時期	土壌肥料
土壌作物栄養	R4-指-25	水田転換畑での春まきたまねぎ栽培におけるリン酸施肥効果	土壌肥料
病害虫制御	R4-指-26	転炉スラグを用いた土壌pH改良によるピーマン青枯病の被害軽減	病理昆虫
野菜	R4-指-27	施設きゅうりににおける小型光合成促進機の導入効果	県北園芸
花き	R4-指-28	りんどう千鳥疎植栽培における株の肥大効果	花き
肉用牛	R4-指-29	黒毛和種における分娩間隔短縮のための寒冷期飼料給与プログラム	家畜育種
肉用牛	R4-指-30	黒毛和種における繁殖成績向上のための分娩後の子宮環境回復指標と早期回復技術	家畜育種
草地・飼料作物	R4-指-31	高温期を回避したオーチャードグラスの刈取管理法	家畜飼養・飼料
草地・飼料作物	R4-指-32	放牧地の移動距離の増加を目安とした転牧指標	外山畜産

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
水稲	R4-行-01	令和4年度における水稲奨励品種決定試験の本調査・現地調査結果	水田利用
水稲	R4-行-02	令和5年度水稲奨励品種決定調査 本調査・現地調査に新たに供試する系統	水田利用
水稲	R4-行-03	令和5年度水稲奨励品種決定予備調査に新たに供試する「岩手151号」、「岩手152号」	作物育種
水稲	R4-行-04	業務用チルド米飯用途向け新規系統「岩手153号」、「岩手154号」、「岩手155号」、「岩手156号」	作物育種
花き	R4-行-05	令和4年度りんどう奨励品種決定試験・現地適応性試験結果	花き
花き	R4-行-06	令和5年度りんどう奨励品種決定試験・現地適応性試験に新たに供試する系統	花き
肉用牛	R4-行-07	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
肉用牛	R4-行-08	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
肉用牛	R4-行-09	岩手県内黒毛和種集団における脂肪交雑の細かさ(新細かさ指数)に係る遺伝的パラメーターおよび育種価の推定	家畜育種
肉用牛	R4-行-10	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	種山畜産
肉用牛	R4-行-11	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	種山畜産

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
水稲	R4-研-01	人工衛星を利用したリモートセンシングシステム「ザルビオ®」による水稲生育把握の可能性	生産システム
水稲	R4-研-02	水稲栽培における中干しが玄米品質に及ぼす影響	生産システム
土壌作物栄養	R4-研-03	水稲の速効性肥料利用追肥体系における基肥施用から荒代かきまでの日数が水稲生育に及ぼす影響	土壌肥料
病害虫制御	R4-研-04	県北地域で発生しているキャベツ根こぶ病菌の病原型判別	県北園芸
花き	R4-研-05	りんどう未受精胚珠培養の改良	花き
花き	R4-研-06	りんどう極早生品種「いわて夢あおい」の全茎収穫栽培法における開花期前進効果の解析	花き
肉用牛	R4-研-07	ふすま給与が日本短角種牛肉嗜好性へ及ぼす影響	家畜育種
肉用牛	R4-研-08	岩手県内黒毛和種集団におけるウチモモの脂肪交雑割合と目視評価の関係及びモモ抜けの遺伝的パラメーターの推定	家畜育種
肉用牛	R4-研-09	黒毛和種去勢肥育牛における良好な発育を確保するための肥育前期飼養管理手法の検討	家畜育種
草地・飼料作物	R4-研-10	採草地における耕起や除草剤散布に対するワルナスビの生態反応	家畜飼養・飼料
乳用牛	R4-研-11	反芻行動のモニタリングによる乳用経産牛の周産期疾病早期予測の可能性	家畜飼養・飼料

分野	成果番号	成果名	担当研究室
肉用牛	R4-研-12	加速度、位置情報をもとにした日本短角種放牧雌牛の交配日推定	外山畜産
肉用牛	R4-研-13	日本短角種妊娠牛における乳汁中及び血清中PAG（妊娠関連糖蛋白：Pregnancy Associated Glycoprotein）濃度の推移と分娩日予測	外山畜産

2 追跡評価

○令和4年度追跡評価の実施結果

(1) 評価対象

令和元年度※公表の普及区分7成果及び指導区分30成果

※新品种の評価等の理由により、外部評価には令和元年度以前の成果も含まれる。

(2) 評価区分及び評価者

評価区分	成果区分	評価者
内部	共通	各部・所
外部	普及	生産者・JA、普及センター
	指導	普及センター

(3) 評価結果

ア 内部評価

令和元年度に公表した37成果の評価結果はいずれもAであった。

区分	有効性	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	H21～30平均
普及	A	9	14	8	9	10	10	6	8	6	5	7	8.5
	B	2	1	1		2	1						1.4
	C		1			1							1.0
	D												
指導	A	31	33	26	21	35	32	18	36	41	37	30	31.0
	B	2	1	2		1	1	1					1.3
	C	2	1										1.5
	D												

A:現在でも有効

B:既に成果の目的を達成し、現在では有効性がない

C:後年度の成果に反映

D:無効(Bに含まれないもの)

イ 外部評価

(ア) 成果区分「普及」

a 生産者・JA評価

- ① 活用状況は、「現在も活用している」が64.7%、「以前活用していたが、今は活用していない」が35.3%。活用していない主な理由として、すでに成果の内容を理解しているためとの回答があった。
- ② 満足度は、「満足」が17.6%、「おおむね満足」が52.9%、「あまり満足できない」が23.5%、「その他」が6.3%。「あまり満足できない」の理由として、成果に記載通りにならなかったというものがあった。

b 普及センター評価

- ① 経営体での活用は、「よく活用されている・活用されている」が87.5%、「あまり活用されていない・活用されていない」が12.5%。
- ② 活用されていない理由として、成果の内容が現地の実情に合わないとの回答があった。

(イ) 成果区分「指導」

a 普及センター評価

- ① 指導上の参考は、「大いに参考になった・参考になった」が88.6%、「あまり参考にならなかった・参考にならなかった」が11.4%
- ② 指導効果は、「大いに得られた・得られた」が70.9%、「あまり得られなかった・得られなかった」が29.1%

③ 指導効果が得られなかった理由として、成果の内容が現地の実情に合わないため、活用場面がなかったとの回答が多かった

表 追跡評価の結果

成果区分	評価者	回答率	質問	回答	
普及	生産者・JA	80.9%	成果の活用	活用している	64.7%
				活用していない	35.3%
			成果の満足度	満足	17.6%
				概ね満足	52.9%
				あまり満足できない	23.5%
				その他	6.3%
	普及セ	100%	経営体での活用	よく活用されている	62.5%
				活用されている	25.0%
				あまり活用されていない	8.3%
				活用されていない	4.2%
指導	普及セ	100%	指導上の参考	大いに参考になった	38.0%
				参考になった	50.6%
				あまり参考にならなかった	10.1%
				参考にならなかった	1.2%
			指導効果	大いに得られた	29.1%
				得られた	41.8%
				あまり得られなかった	21.5%
				得られなかった	7.6%

3 東北農業研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	野菜花き	計
研究成果数	1	1

(2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
野菜花き	一重咲き鉢花向け赤紫色リンドウ新品種「Bzc-1 mut1(仮称)」の育成	研究	花き